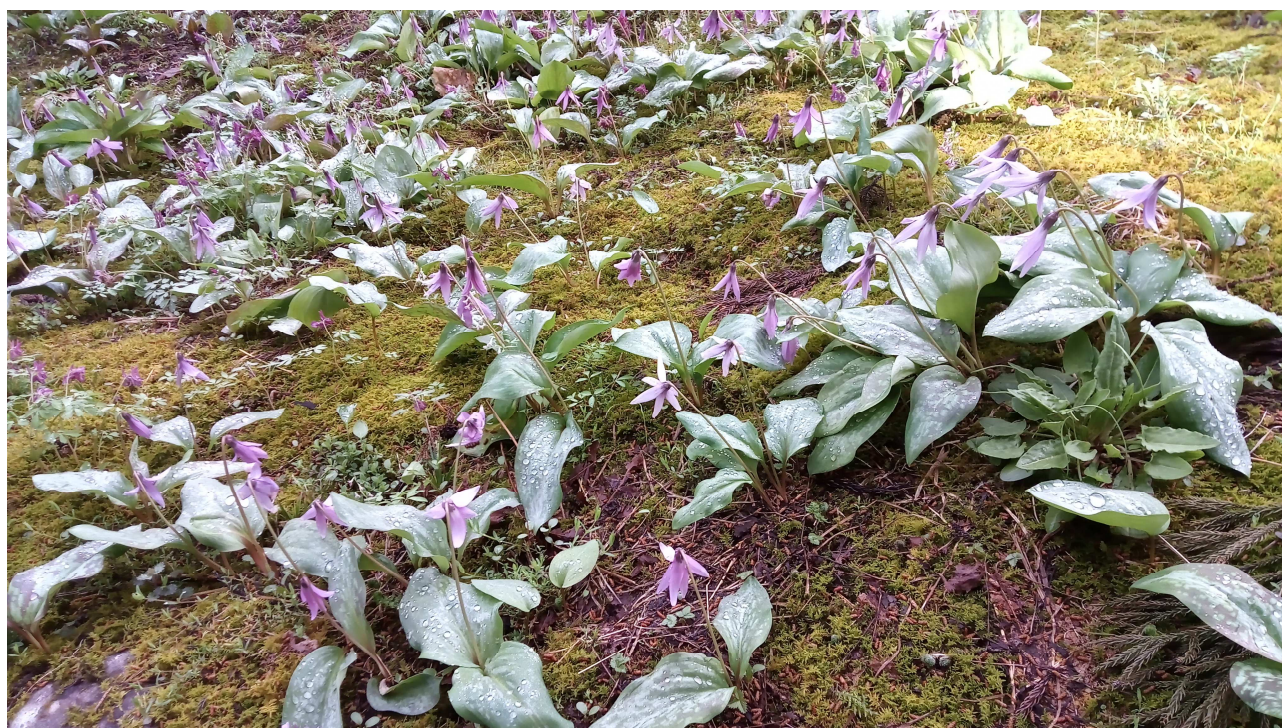


裾野麗峰山の会・山行報告書		文・写真 加藤
山行番	個人山行	
日時	2023年04月13日(木) 晴	
山域	南魚沼市・坂戸山(634m)	
コース	富士 IC5:00-東名高速厚木-圏央道鶴ヶ島 JCT-関越道・六日町-坂戸山・鳥坂登山口 8:45-富士 IC16:30	
標高差	上・下り 鳥坂登山口約165m~坂戸山634m=約469m	
難易度	非常に困難 困難 やや困難 レ普通 レやや易しい 易しい	
山頂までカタクリの群生		
参加者	加藤、星、鈴木(元会員)、植松(山楽歩) =4名	

女3人寄れば何とかと言うが、4人もいれば想像がつく? 久しぶりの顔合わせに、「元気だった?~」の挨拶から始まって、あぁたらこうたら車中は大盛り上がり。

そもそも今回の目的は、膝変形関節症の綾ちゃんを何とか外に連れ出して歩かせてあげたい。どうせなら花があれば更に良い? という事で、ナイチンゲールの植松、サポーターの星のメンバーに声を掛け、遠いけれどカタクリが群生しているという新潟県南魚沼市にある坂戸山に行く事になった。



カタクリ

坂戸山は634m。鳥坂登山口は165m。標高差は500mもない。牛歩の如く、ゆっくり綾ちゃんペースで歩けば何とかなるだろう。

道中、車の渋滞もなくスムーズに六日町 IC をおりた。朝と昼の買い出しに店に寄る。レジは全て自分で行うが慣れないせいか手間とる。おまけにトイレは流すボタンが見つからず、長い事外に出られなかった。(; ^ 丏 ^) トホホ (皆も同じ)

鳥坂登山口は IC から 10 分もかからずに到着。第一駐車場は既に満杯だったが、一番端の所にどうにかスレスレで置く事ができた。9 時。支度をして出発。登りは白坂コース 1 時間半、下りは薬師尾根コース 1 時間の予定だ。

気持ちが良いねえ。綾ちゃんゆっくり行こうよ・・・なんて話をしている間もなく、一人がすご〜い！と騒ぎ始めた。ホントだ。凄いカタクリの大群落だ。道の両側の平たい敷地いっぱいが紫で埋め尽くされている。



イワウチワ



朝露がまだ付いたまま。花びらをクッと後ろに曲げて威厳さえも感じられる。私が、「カタクリ頑張ってるねえ・・・」と言ったら綾ちゃん、「私も頑張ってるよ！」には皆で大笑

いした。

登るにつれ坂が急になる。道両脇の斜面全体がカタクリで埋め尽くされ、その中に、シ
ョウジョウバカマ、鮮やかなイカリソウ、可憐なエンレイソウ、エンゴサク等がちらほら
見られた。今の時期一番旬の「こごみ」もあった。が、何故か細く軟弱な体型だ。カタ
クリに圧倒されて太くなれないのか。これでは美味しそうにも見えないので採るのは遠慮
した。(当り前かあ)



イカリソウ



白カタクリ

急登は続く。一本の真っ直ぐな道をジグザグに切っているため比較的体への負担は少
ない。花に癒されコツコツと、マイペースで歩く綾ちゃんは快調だ。頂上直下の平らな桃
の木平で一服。低姿勢でカメラを構えている方の視線を追うと、何と、何と、「白いカタク

リが二輪」咲いていた。紫もよいが、白いカタクリは一段と清楚だ。初めて会う白いカタクリに最敬礼。



ショウジョウバカマ（後ろの山は、まだ雪がいっぱい）

ひと登りで山頂着。スカイツリーと同じ標高634mの高さと言われる。相変わらずカタクリの大群落。登り口から頂上までカタクリの大群落が続くとは、いやはや何とも初めてだ。

真ん中に富士権現を祭った社が立ち、後方に雪をまとった、八海山、巻機山、守門岳、中ノ岳、谷川岳等の峰々が連なる大展望だ。

下界が、周囲全体に広がって富士山の剣が峰に立っているような感覚さえする。花といい、展望といい、標高が低くとも、素晴らしい山に出会えたことに感謝して下山開始。



下りは一転してカタクリが一輪もない。その代り、イワナシ、イワウチワ、ミツバツツジ、タムシバ、マンサク等が点在していた。

登るも大変、下りも更に辛い階段が一気に駐車場まで続き花を見る余裕もないが、前を向くと、下界が常に眺望でき活が出る。

標高を3分の2まで下げると石仏が間隔を開けて下の坂田薬師堂まで続いていた。桜はまだ満開であった。



帰りも車中は花の話題で盛り上がり寝る暇もない。時間的に厚木経由では渋滞になりそうなので、中央道経由河口湖 IC でおり 139 号線で帰ってきた。正解だった。

翌日の綾ちゃん報告。膝も何ともなく身体も疲れがない。嬉しい！又、山に行きたい！だった。(●^o^●)



美女4名